

デリバリーカテーテルを用いたペースメーカー植込み術によるリード留置部位に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2020年1月22日～2025年3月31日

〔研究課題〕

デリバリーカテーテルを用いたペースメーカー植込み術によるリード留置部位に関する研究

〔研究目的〕

通常ペースメーカーは中空のリード(電線)の中にスタイレット(金属の芯)を入れて留置します。一方、あらかじめ形がつけられたカテーテル(細い管)の中にリードを通してリード留置する法は従来のスタイレットによる留置法に比べ、より正確な位置に留置することを意図して考案されました。しかし、実際にどのような位置に留置されているか検討した報告はあまりありません。デリバリーカテーテルを用いリード留置を行い、術後に経胸壁心臓超音波検査でリード留置位置を調べることにしました。

〔研究意義〕

この研究をもとにデリバリーカテーテルを用いることでより正確な位置に留置できることが証明される可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2018年9月から2019年9月の診療記録(年齢、性別、既往歴、透視時間、造影剤使用量、合併症の有無、術後30日の予後など)を元に調査が行われます。研究期間は倫理委員会承認後～2025年3月31日までとなります。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 循環器内科

〔個人情報の取り扱い〕

収集された情報は、当院にて厳重に管理され、それを必要とする者のみ閲覧することができます。したがって患者様の医療記録に関する秘密は守られます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 渡 雄至 (内科学講座 講師)

研究分担者: 宮川睦喜 (内科学講座 助教)

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 30415]